



JACは、本年(2012年)4月1日を以って、公益社団法人となります。

これに伴い、支部のあり方も事業の明確化が求められますが、具体的には、全ての活動は、支部活動、登山振興、環境保全、のいずれかに組み込まれ、それぞれの公益性への関わりと収支について、明確化が求められるようになります。

4月21日(土)に支部定期総会を開催します。詳細は本文を参照下さい。なお、会員で欠席される方は、必ず委任状を提出願います。

<山行・行事報告>

1. 新春登山と新年会

- ・ 日程 平成24年1月14日(土)～15日(日)
- ・ 場所 登山 高倉山(922m) 白山市木滑
新年会 吉野谷セミナーハウス(白山市中宮)
- ・ 参加者(25名)
登山と新年会
関本邦晴(CL) 池本順平 大庭保夫 大庭太洋子 木原清 村上哲 長清幸子
前田健進 田井友泰 西嶋鍊太郎 高島加代子 東野智也 (以上12名)
新年会のみ参加
内藤千代 埴崎滋 織田伸治 小畑聡子 岩谷浩三 安田二三男 大幡裕
北栄一郎 高田和彦 (関本淑子) (以上10名)
登山のみ参加 櫻井茂 西川輝 松井大樹(以上3名)

<登山>

冬型の気圧配置が続き、前日の予報では、日本海側は雪、新潟以北は大雪とのこと。

当日朝6時、外を見るとちらちら雪が降っている。衛星画像では、日本海に筋状の雪雲があり6時間後の予測では大きな雪雲の塊が白山麓にかかる見込み。

「降るなら降り」と諦め、とにかく予定どおり9時00分「白山自然保護センター」駐車場に集合。

皆が集まった頃から、時々青空が覗くような天気、9時30分15人が輪環を履いて出発。

駐車場から山頂に向かう尾根をほぼ一直線に鉄砲登り。樹上から猿の群れが冷ややかな視線、若手2人が交互にラッセル、時々、60歳OVERがトップに出るが長くは続かない。

そのうち天気は、回復に向かい最高の登山日和となる。林道を2箇所横切った辺り(850m)で13時となりで時間切れ見晴らしの良い場所まで移動し昼食、14時00分下山開始、15時～15時30分頃駐車場に到着、各自、新中宮温泉センターで汗を流したあと新年会会場に移動する。

<新年会>

今回の会場は、白山市営の研修施設、吉野谷セミナーハウス。研修施設であることから使用名目は「冬山登山技術研修」、新年会は、高倉山登山の反省会。

飲食は、全て持ち込で、厨房には全ての什器、調理器具が揃っていた。

今回、準備を担当してくれた、内藤さん、小畑さんには大変お世話になりました。

また織田さんが釣りとてのアカイカやヤリイカを差し入れてくれ、その他、こぶ締めやおでん、ワイン焼酎等々沢山の差し入れがあり、池本さんの包丁さばきで大皿に各種の刺身が並び料亭並み豪華な晩餐となり、遅くまで歓談した。

翌朝、朝食の後「ふるさと登山道整備事業」の大瓢箪山の件でお世話になっている山菜料理店「けがさ」店主である畑正人氏から地元の立場からの意見と許可申請等の進展状況をお聞きしたあと館内の掃除をして、9時解散。

吉野谷セミナーハウスをお世話してくれた高田会員、また管理人の北村さんにはお世話になりました。(文・写真:関本邦晴)



2. (公益)山岳講演会 「お天気の話」

- ・日程 平成 24 年 2 月 26 日(日) 13 : 30~15:00
- ・場所 「深田久弥 山の文化館」 二階談話室
- ・演題 「お天気の話」
- ・講師 多野 正一 会員 [(元)気象庁予報官]

・参加者(50名)

会員・会友(11名) 石森長博 太田義一 大庭保夫 大庭太洋子 大幡裕 木原清 西田茂
埴崎滋 廣瀬 正 広瀬幸寛 前川陽 その他一般 39名

当日は曇天で「早春」特有の肌寒い日であったが、聴衆者は一様に興味津々の笑顔で、早めに集合していた。「深田久弥山の文化館」は、往年の日本建築の趣に包まれ、いつ来ても心が和む。

講演会は、定刻どおり 13 時に始まる。冒頭、司会者から講師が紹介されるが、「元気象庁予報官」との紹介の際、前列の大庭さんが振り向かれ、「そういえば、この前の支部の周知文に、元気象予報士と記載されていたが、あれは予報官の間違いで、予報官の方がずっと偉いんだ」と、たしなめられる。

それを聞いて、多野さんにはとても悪いことをしたと思い、罪悪感から、終わったらすぐに謝りに行かねばと思っていたのに、結局忘れてそのまま帰ってしまった。

講演は、プロジェクターが使用され、解説もトツトツと丁寧で分かりやすかった。内容は①「天気図ができるまで」として、「地球大気の運動」「数値予報とは」「気象観測のいろいろ」 ②「天気図の見方」として、「天気図の見方や季節の特徴」「高層天気図について」 ③「インターネットによる気象資料の活用」として、「気象庁ホームページの紹介」等について、それぞれ解説された。

気象予報は、地球全体を細かい格子に分け、各地点で観測したデータを収集して、それらの計算結果から予報を出す。データ収集から計算結果まで 6 時間のタイムラグがあり、的中がなかなか難しいとのこと。そのため、なるべく最新の予報を参考にしてほしいとのことであった。

また、長年の予報生活で、「石川支部の剣沢合宿時における荒天予測」や「松本深志高校の西穂尾根での落雷事故」が自分の予測が的中した、思い出に残る大きな仕事であったことを、感慨深げに



語られていたのが印象深かった。

講演は、約1時間で、そのあと質疑応答に入ったが、金沢気象台の弥生から駅西への移転に伴う積雪等の観測データの違いや、緯度と山の相関関係、果ては、昨今のテレビで人気の女性気象予報士等、白熱した質問が相次ぎ、瞬く間に30分が経過し、一同新たな知識習得で満足な表情の中、1時間半の和やかな講演会が終了した。

(文・写真 前川陽)

3. カンジキ・雪洞山行

- ・日程 平成24年3月24日(土)
- ・場所 取立山
- ・参加者 (12名) 会員5名、会友2名、金大ワンダーフォーゲル部5名
大庭保夫 (CL) 大庭太洋子 織田伸治 木原清 西川輝 前川陽
八十嶋仁 坂田有輝 出倉直紘 山岸雄太 大島遥平 井上雄大

一旦集まるも、登山口手前の集合地で中止決定

天気予報では、当日の雨天は予測できたが、これまでの中止の後ろめたさや、「山岳会たるもの雨天ごときで云々・・・」との意見もあり、「う～ん、とりあえず一旦集まるか。」との折衷案で「瀬名高原道の駅」に7時20分に12名全員が集合する。バシャバシャ降る雨がひさしの中に吹き込み、皆、浮かぬ表情。雪崩警戒注意報も気になる。そんな中「中止」は全員総意でスンナリ決まる。某氏からは、こう中止ばっかしじゃ、西嶋先輩から「お前ら何やっとなじゃー」と怒鳴られソー、との軽口も出る始末。このまま解散するのも不完全燃焼のため、会員所有の山小屋で山談義することとする。8時半ごろ山小屋に着き、大庭会員から3月10日の下見の写真や地図で、本日のコースやポイント等の説明を受けたり、本日参加の金大ワンゲル部員5名は、総勢20名の中で雪山希望者の「ツワモノ」である等、種々の山談義で盛り上がり、10時頃現地解散する。

今回の中止は、学生の参加で、慎重な判断を要したこともあったが、彼らのすすがしさと礼儀正しさに触れ、こんな日に無理をしなくて良かったとあらためて痛感するとともに、次回も声かけをし、山岳会の若いエネルギーを期待するものである。(写真は、小松市布橋町の「十二ヶ滝」)

(文：前川陽 写真：大庭保夫)



＜今後の行事予定＞

参加お申込みは事務局（前川 E-mail:maekawayo@gmail.com TEL 080-1952-7298）
または担当者まで、お願いします。

1. 雪上訓練

本年度初の山行計画で、金沢近郊の医王山、山腹で雪上の基本的な技術を習得します。
初心者は勿論のこと、ベテラン諸氏には春の体力ならしと指導を兼ね、是非お出かけ下さい。

- (1) 担当者 岡本 明男 TEL090-2126-9423
- (2) 日 程 平成24年4月14日(土)
- (3) 集 合 医王山スキー場駐車場 午前8時30分
- (4) 携行品 ピッケル、手袋、雨具、弁当、水筒、スパッツ、帽子等日帰り登山用具
⇒持っている方は持参下さい【アイゼン、ゼルブスト、カラビナ3枚（内1枚は安全還付）スリング大、中、小各1本】
◎ 団 装 : ザイル40m2本
- (5) 申込〆切 4月7日(土)

2. 第12回五支部合同懇親山行について

白山開山の祖「泰澄」は白山など越前五山をはじめ、約30の開山や全国21府県に亘って神社仏閣
仏像、温泉開湯など、460箇所以上の足跡があり、1,300年の時空を越えて、今でも各地の人々に
語り継がれています。

そこで、若き泰澄が修行した、日本100霊山「越知山」と入寂の地、越知山大谷寺などの縁の地で、
その足跡を訪ね、遺徳を偲ぶとともに、その豊かな自然と史跡を守るため「泰澄祭」が開催されま
すが、今回はこれにあわせ、五支部合同懇親山行を以下のとおり開催しますので、多数ご参加願
います。

(1) 日 程 平成24年5月26日(土)(前夜祭) ～ 27日(日) (越知山泰澄ウォーク・泰澄祭)

(2) 内 容 ①5/26(土) 前夜際 受付 13時～

「泰澄の杜」温泉 TEL0778-34-2322 福井県丹生郡越前町小倉 88-5-1

- ・ 13時～13時半 受付（泰澄の杜玄関）
- ・ 13時半～16時 泰澄ミニシンポ(ビデオ上映、越知山泰澄塾長挨拶、泰澄コラム発表、質疑応答
 - ・ 16時～17時 大谷寺参拝(希望者のみ 16時玄関集合マイクロバス乗車)
 - ・ 17時10分～18時 入浴（泰澄の杜）
 - ・ 18時～20時 夕食・懇親会
 - ・ 21時 就寝

②5/27(日) 日本100霊山 越知山(612m) 泰澄ウォーク・泰澄祭

- ・ 7時～ 朝食
- ・ 8時 出発
- ・ 8時20分 登山口集合(奥糸生多目的施設:越前町小川地係)
- ・ 8時40分 入学式

- ・ 9時 登山開始(越知山泰澄ウォークに合流)
- ・ 12時 越知山室堂前広場集合
- ・ 12時～13時20分 泰澄祭(野外コンサート) 昼食
- ・ 13時20分～14時 山頂散策(奥の院)
- ・ 14時 下山開始
- ・ 15時40分 登山口着(マイクロバス乗車)
- ・ 16時 泰澄の杜着(解散：希望者には入浴割引券配布)

(3) 参加費

| 区分 | 事業内容 | 参加費 | その他 |
|----|-------------|---------|---------|
| A | 前夜祭(泰澄の杜一泊) | 12,000円 | 当日受付で徴収 |
| B | 泰澄の杜(懇親会のみ) | 7,000円 | 当日受付で徴収 |
| C | 泰澄ウォーク・泰澄祭 | 無料 | - |

(4) 申込み

- ・ 申込期日 平成24年4月22日(日)
- ・ 申込先 事務局(前川)まで、メールもしくは電話にて。
*Mail maekawayo@gmail.com
*Tel 080-1952-7298

(5) その他

- 書籍頒布 泰澄塾発行の「越知山 泰澄の道」No.1 1,700円(当日会場にて販売)

○越知山泰澄ウォーク・泰澄祭に関して

- ・ 服装 登山にふさわしい服装(雨具、防寒具、軍手等は必携)
- ・ 持ち物 弁当(「泰澄の杜」の宿泊者には、朝食時おにぎりを配付)、飲料、おやつ等
- ・ その他
 - ・ 事前申込み、参加料共に不要
 - ・ 当日参加の方は、なるべく「泰澄の杜」8時発のマイクロバスをご利用下さい。
 - ・ 下山は自由行動。(但し、山は下山時に事故が多いので要注意!)
15時40分 ⇒ 下山口(登山口)にマイクロバス待機。
- ・ 事故等の場合は、簡単な応急措置はしますが、アトは自己責任で願います。
*本件問合せ先 越知山泰澄塾事務局 0778-34-1203(城戸信也様宅)
090-6810-5839

3. 「県民安全のつどい」・「中高年安全登山指導者講習会」(東部地区)開催に伴う 石川県山岳協会からの協力依頼について

日本山岳協会主催の「中高年安全登山指導者講習会」(東部地区)が本年は白山で開催され、石川県山岳協会が担当します。加盟山岳会へ支援要請が来ていますので、石川支部として3名程度の支援要員が必要ですので、会員のご協力をお願いします。
なお、実施日程等は以下のとおりです。

本番前にプレ(リハーサル)登山が実施されますが、その日程等は以下のとおりです。
なお、現時点では概略のみで詳細は、今後決定されます。

○県民安全のつどい

- ・日程 平成24年6月9日(土)～10日(日)
- ・場所 鷲走ヶ岳
- ・概容 6/9(土) 受付(16時～)：白峰：御前荘
 宿泊：コテージ予定
 17時～ ・研修会(白山消防署員による応急手当方法) ■分科会(中高年に関する3分化会 ・懇親会 ・就寝
 6/10(日) 鷲走ヶ岳登山
 7時30分 道の駅「瀬名」集合、開始式
 8時 出発(東二口)
 15時 閉式

○中高年安全登山指導者講習会「東部地区」

- ・日程 平成24年9月21日(金)～23日(日)
- ・開催山城 白山山麓
- ・宿泊場所 御前荘
- ・概容 9/21(金)
 - ・12時～ 受付 ・13時～ 開校式 ・14時～18時 講義 班別実習
 - ・19時～ 夕食 ・20時 ・20時～ 入山準備
- 9/22(土)
 - ・7時～朝食 ・8時～ 実技(登山行動) ・12時～ 昼食
 - ・13時～ 実技(登山行動) ・19時～ 夕食
- 9/23(日)
 - ・7時～ 朝食 ・8時～ 研究協議 11時～ 閉校式・解散

<その他行事報告>

臨時支部事務局担当会議

- ・日程 平成24年1月21日(土)～22日(日)
- ・場所 JAC本部会議室
- ・参加者 事務局長 前川 陽
- ・会議内容

平成24年4月1日の「公益社団法人日本山岳会」のスタートに際し、それまでに必要な各事務処理について、それぞれの担当から説明があった。

期間がひっばくしている中での種々の事務処理に、各支部の事務局は目を白黒させていたが、本部もこれまでかなり大変だったことがうかがい知れ、異論は特に出なかった。

尾上会長から冒頭、大きな障害が無ければ本年4月1日に「公益社団法人日本山岳会」が誕生すること。企業会計がそのまま準用されること。新公益法人PTは大変で頑張っていること。

支部は助成金の扱いを明確にすることが大切で、それ以外は従来どおりで過大な心配は不要、等の話があった。

今回の二日間の会議での主な内容は

- ・支部規約変更案の必要的記載事項について(吉永副会長)
 - 公益社団法人では支部規約も監督官庁下であり、基本的事項は各支部の統一を図り、それ以外は各支部の判断とした。具体的には、「事業の一体」「会計が一体」「ガバナンス(人事)が一体であることで、支部長、会計担当者、会計監事の明確性が重要。
- ・24年度予算(事業計画)について(小林常務)

本部と支部の事業の一体化から本部からの受入金については、証憑類を添付した収支報告が必要。

- ・23年度決算について(吉川会計士)
本部から支部への事業補助金は、「支部活動」「登山振興」「環境保全」に組み入れること。なお登山道整備費は「環境保全」ではなく「登山振興」。
- ・公益事業について(佐野プロジェクトリーダー)
公益社団法人では、支出の50%以上は公益が必要。JACでは現時点でも82.9%達成(無償の役務は計上せず)しているので心配不要。もっとやれというわけではない。
- ・第28回全国支部懇談会の開催について(千葉支部)
 - ・日程 平成24年10月20日(土)～21日(日)
 - ・場所 千葉・九十九里 「国民宿舎サンライズ九十九里」
- ・その他(会務報告、各支部24年度事業計画、その他事務連絡)
印象に残った内容を以下に列記。
- ・公益社団法人に伴い、これまでの規約、規程類は全て無くなる。(吉永副会長)
- ・「山の日」づくりの中心は、支部、地域から盛り上げたい。(成川「山の日」PT長)
- ・震災義捐金の総額は4,741,153+540(受取利子)=4,761,693円であった。(宮崎理事)
- ・支部を全国(各県)に展開したい。・・・H24年2月に四国支部誕生(宮崎理事)
- ・全国で11支部が「森づくり」を実施しているが、「高尾(東京)の森づくりの会」に幹事役の依頼があった。
チェーンソー従事者には特別な保険をかけている。その他、無記名の保険を何人分として
けている。(以上、「高尾の森づくりの会」代表カサイさんから)
- ・公益か否かの判断は「何のためにやっているか」と「周りの人を巻き込んでいるか」である。(高原常務理事)
- ・JACの団体傷害保険は、会員(会友は不可)が加入すれば、配偶者、子供、両親、兄弟、
会員と同居の親族および同居の使用人も同時に加入可能。(保険担当 藤田礼子さん)
- ・入会后3年後には会員になることを条件としている(関西支部)
- ・JACの商品販売・・・ダウン15,000円 トレーニングウェア(男女とも7,000円)
アタックザック(色三種)2,000円 帽子(キャップで色落ち
せず)1,500・・・以上4点、全てJACのロゴ入り
スプーン500円

(以上事務局：前川)

<その他お知らせ>

1. 平成24年度支部定期総会の開催について

以下のとおり開催しますので、参加の有無について事務局まで返信願います。

なお、**会員で欠席の場合は必ず所定の方法で委任状を提出願います。**

- ・日程 平成24年4月21日(土)～22日(日)
- ・場所 一里野温泉「ケリエ山荘」 TEL076-256-7825
白山市尾添チ71-3
- ・総会 4月21日(土) 17時～
*対象者は会員のみとしますが、会友の傍聴は自由です。
- ・懇親会 4月21日(土) 18時30分～ 会員・会友対象
- ・会費 1万1千円(懇親会費及び一泊二日料金)

- ・委任状 会員で欠席される方は、支部長に議決権を委任される旨を記載し、事務局(前川)まで、メール願います。(メール環境の無い方は、配付の返信用葉書にて)メールの印刷を以って、委任状とします。

なお、委任状の記載方法は次のとおりです。

⇒私は、支部長に平成24年度石川支部定期総会に関する一切の権限を委任します。

平成24年〇月〇日 氏名()

- ・ 申込〆切 4月10日(火)

2. 新入会員について

2名の方が入会されますので、ご紹介します。

- ・ 大幡 裕 (会員No.14990 小松山岳会所属 紹介者：関本邦晴)
- ・ 西田 茂 (申請中 金沢山友会所属 紹介者：津田文夫)

4. JAC ホームページの拡充について

JACのホームページが拡充されましたので是非ご覧下さい。支部会報も今後、個人情報の削除等内容を一部変更して掲載する予定です。

5. 「日本百名山写真コンテスト」 JAC 後援)

～深田久弥山の文化館会館十周年記念行事～

(展示会を予定している平成25年3月は深田久弥生誕110年にあたります。)

- * テーマ 深田久弥の「日本百名山」を撮影した写真
 - * 応募〆切 平成24年11月15日(木)
 - * 応募規定 カラープリント四ツ切(ワイドは不可)、プロ・アマ問わず。一人5点まで(山が異なる場合は10点まで可)
 - * 審査員 白旗 史朗 氏
 - * 入賞(金) 最優秀賞1点(10万円) 優秀賞2点(各5万円) 入選10点(各3万円) 佳作40点程度(賞金なし)
 - * 展示会 H25.3.23～H25.4.7 加賀市美術館(加賀温泉駅前)
- その他詳細は「深田久弥山の文化館」のホームページを参照願います。

6. 「2012いしかわスポーツ川柳」の募集について

財団法人石川県体育協会から、加盟団体への協力依頼として、標記川柳の募集がありました。会員・会友本人、ご家族、友人等どなたでもかまいません(但し、県内在住者)ので多数のご応募をお願いします。

応募方法は以下のとおりです。

- ・ 作品(川柳) のほか
- (注)作品テーマはスポーツをテーマにしたオリジナル、未発表のもの
- ・ 記載事項 自宅住所 氏名(フリガ) 年齢 性別 電話番号 所属団体 を記載
- (注) 所属団体は「日本山岳会石川支部」
- ・ 提出方法 FAX、郵便、メールのいずれかで、事務局(前川)までお願いします。
- ・ 応募〆切 平成24年4月25日(水)
- ・ 審査員 財団法人石川県体育協会事務局 並びに 生涯スポーツ委員会
- ・ 表彰 大賞1名 金賞2名 銀賞2名 入選5名を選出し賞状と副賞を授与

- ・発表 作品および氏名、所属団体、年齢を石川スポーツセンター館内に掲示
また、本協会の機関紙「体協だより」にも掲載

< 会員動向 (田中康典 会員)>

田中康典会員は平成 24 年度より、石川県勤労者山岳連盟(石川労山)会長に就任されます。

同会長は、過去、西嶋鍊太郎会員も務められ、今回で二人目の支部会員からの就任となります。

日本勤労者山岳連盟、日本山岳協会、日本山岳会はそれぞれ日本を代表する山岳組織ですが、各組織それぞれの特色を活かしながら、山岳会全体の発展に寄与しています。

今回、田中会員に手記をお願いしたところ、快諾いただきましたのでご紹介します。(事務局)

< 近況報告 > 田中 康典

昨年6月に出入り含めて2週間、シャモニのフランス国立スキー登山学校(ENSA)で山岳ガイドの研修を受ける機会に恵まれました。現地集合、現地解散ということで行き帰りは一人旅となり、せっかくだからと貯めたANAの65,000マイルを往復で充てました。幸運なことにスイスエアーはスターアライアンス・メンバーでしたから。行きは成田~チューリッヒ、帰りはジュネーブ~チューリッヒ~成田。小松⇄成田は10,000マイル。併せて75,000マイルで、現地の電車とバス代のみでした。行きがけの駄賃で新婚旅行以来となるグリンデルワルトを目指し、チューリッヒから電車で5回乗り換えて夜の7:30頃ホテルに到着。ここで2泊してから、また電車でフランスとの国境の駅マルティニで乗り換えて集合日の前日にシャモニに入る。早速、我々の世代では憧れのガイドであったガストン・レビュファの墓に詣でる。墓地があまりに広く途方にくれていると、市民の方が墓参りに来られ尋ねると親切にも案内してくれた。さすがレビュファは愛されているのだなあ実感した次第である。さて、集合当日午前9:00前にENSAへ行くとき私を入れて4人の日本人が来ていた。ここでレビュファも教官を務めていたのだ。早速、班編成が行われて宿舎に入る。その日の午後から研修がスタート。ミディまでゴンドラで上がり早速バレー・ブランシュの氷河でレスキュー訓練が始まり、赤い針峰群でクライミング、メール・ド・グラスの氷河歩行などでタイト・ローピング技術(コンティニューアス)のトレーニング。ガイディング技術の要諦でもあり、究極の技術だ。連日の訓練が続き、最後の仕上げとしてガイドとクライアントの役を交代しながら、コスミック山稜をタイト・ローピングの技術を駆使してまさに駆け攀じる。グランド・ジョラス、ダン・デュ・ジェアン、モンブランなどをバックにクライミングする楽しさは何とも言いようがない。

昨年8月14日には念願の剣岳八ッ峰マイナーピーク・東面スラブをK君と2人で完登しました。真砂沢BCを5:10出発。午後5:00にBC帰着。ちょうど12時間かかりました。15ピッチのクライミング、同ルートを懸垂下降20回でした。真砂沢ヒュッテの主人=佐伯成司氏曰く、その年の初登だそうです。ピトン5本貸して頂いたばかりか、祝いのビールまでご馳走になりました。年に1~2パーティ登るか登らないかということだそうです。取り付きまで悪場を2時間。取り付きから残置ピトンが本当に少なく、ルートファインディングが難しい。ビレー・ポイントも限られていて墜落は許されない。クライミング正味、約4時間。下りも悪く、同じ6時間かかったこととなります。私たちは天候に恵まれて、素晴らしい大スラブをクライミングできました。まさにワイルドなルートでした。翌日はAフェース2本を各50分で終了。午後から雨となり、それ以降予定していた八ッ峰Dフェース~チンネ左稜線~三ノ窓雪渓~BC真砂沢のワンデイ周遊計画を断念しました。

また昨年12月29日にはK君と2人で八ヶ岳へ。登山口から2時間あまりで赤岳鉱泉へ到着。テントを設営後、すぐに裏同心沢へアイスクライミング。それからジョーゴ沢でアバラコフそれに補助ロープと

アイスピトンの自動回収法を確認。翌12月30日に大同心沢大滝（50m）を登るべく入山。クライマーは私たちだけ。しかし、10:00過ぎに田中がトップで上部に取り付くが3本目のランニング・ビレーのカラビナにクリップする際に右足の氷が崩壊して不覚にも10m墜落。右足首を骨折。ヘリのピックアップに備えて、懸垂下降で取り付きの広場まで這いずりまわって何とか到着する。11:40頃にヘリでピックアップされ、10分で茅野市のヘリポートに到着。待っていた救急車に乗せられ12:00過ぎには諏訪中央病院に搬送される。ここで応急処置で足首を固定してもらい、金沢へ帰って手術することを決断致しました。1月3日に入院、4日手術。全治6か月です。でもこれは自分が招いたもの、誰も恨むことはできません。人の痛み、弱者の気持ちに思いを馳せ、人からの思いやり、周囲の励ましに勇気づけられてきました。人に対する感謝の気持ちが、以前より強くなったように感じています。何を今さらとお思いでしょうが、私の本音です。4月2日から仕事に復帰します。前向きに自分を信じて、リハビリを続けながら7月上旬には山歩きを再開したいと希望しています。山歩きの出来ることの素晴らしさ、幸せを日々感じております。人が多く学ぶのは、いつも得意より失意のときである。



2011.06 フランス国立スキー登山学校
(ENSA)で山岳ガイドの研修での赤い
針峰群でクライミング